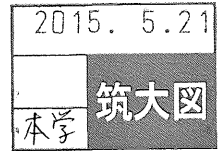


筑波大学

教育学系論集

第39巻



目次

〈研究論文〉

- 種口直宏 小中一貫教育の実践における児童生徒の意識傾向 1
 一質問紙調査の比較検討一
- 根津朋実 宮坂喆宗, 哲文における「行」 15
 一戦中期の公刊物を手がかりに一
- 中園長新 高等学校教員の意識からみた情報教育推進の要件と課題 31
- 吉田ちひろ 現代の高校統廃合における
 新校の創設過程の問題に関する一考察 45
 一教員の認識の変化に着目して一
- 蜂屋大八 中山間地域コミュニティにおける
 社会関係資本形成と住民の学習の関係性 59
 一山形県最上郡金山町を事例として一
- 曹蓓蓓 外国人集住地域における多文化共生の取り組みに関する考察 ... 73
 一中国人集住地域の事例調査を通して一
- 那楽 日中における小学校第1学年の道徳資料に関する比較検討 87
 一儒教思想の「礼」を手がかりにして一
- 緩利真奈美 小学校算数科の単元デザインにおける教師の実践的知識 99
 一坪田耕三氏の事例一

〈活動報告〉 113

〈学位論文要旨〉 117

〈院生研究活動状況一覧〉 127

平成27年3月

筑波大学人間系教育学域

『筑波大学教育学系論集』編集規程

1. 発行

『筑波大学教育学系論集』は、筑波大学人間系教育学域教員等および教育学域教員の指導を受けている人間総合科学研究科後期課程・3年制博士課程院生等の研究発表のため、年2回（3月、10月）発行する。

2. 投稿

(1) 投稿資格は、以下のいずれかに該当する者とする。

(a) 人間系教育学域教員等

(b) 人間総合科学研究科教育学関係後期課程・3年制博士課程院生（教育基礎学専攻，学校教育学専攻，ヒューマン・ケア科学専攻共生教育学分野および関連する専攻の一貫制専攻）

(c) 上掲(b)の博士課程を修了または単位取得退学した者

(d) 筑波大学博士特別研究員

(e) その他編集委員会が特に認める者

(2) 投稿原稿は「研究論文」とし、単独執筆の場合は20,000字以内、共同執筆の場合は40,000字以内を原則とする。ただし、外国語による原稿は、編集委員会が別途指定する投稿要領に従うものとする。

(3) 掲載された論文は、原則として、筑波大学電子図書館に登録するものとする。

(4) 3月刊行の投稿論文の申し込み期限は9月末日とし、原稿提出期限は10月末日厳守とする。10月刊行の投稿論文の申し込み期限は4月末日とし、原稿提出期限は5月末日厳守とする。

(5) 原稿は、英文の題目及び要旨（300語以内の英文とその和訳）を付して、3部を提出するものとする。

(6) 投稿にあっては別に定める「執筆要領」に従うものとする。

3. 編集委員会

(1) 編集委員会は、教育学域FD委員会から選出された委員をもって構成するものとする。編集委員会の委員長はFD委員会委員長をもってあてる。

(2) 投稿論文の査読は、教育学域等教員があたる。

(3) 編集委員会は、投稿論文等の掲載の可否等について審査・決定する。

4. その他

(1) 編集委員会は、『筑波大学教育学系論集』の編集等について、この規程に定めることのほか、編集に必要な編集内規等を作成し、教育学域FD委員会の承認を得るものとする。

(2) この規程の改正については、編集委員会が改正案を作成し、教育学域FD委員会の承認を得なければならない。

(3) この規程は、平成4年7月1日から施行する。平成7年4月1日改正。平成9年4月1日改正。平成11年5月12日改正。平成13年6月13日改正。平成15年6月11日改正。平成19年11月14日改正。平成20年7月9日改正。平成22年4月14日改正。平成23年12月6日改正。平成26年8月7日改正。

執 筆 者	所 属
樋 口 直 宏	人間系
根 津 朋 実	人間系
中 園 長 新	人間系
吉 田 ちひろ	人間総合科学研究科 教育基礎学専攻
蜂 屋 大 八	人間総合科学研究科 教育基礎学専攻
曹 蓓 蓓	人間総合科学研究科 教育基礎学専攻
那 楽	人間総合科学研究科 学校教育学専攻
緩 利 真奈美	人間総合科学研究科 学校教育学専攻

編集後記

教育学系論集第39巻をお届けします。本巻は、昨年度までの「教育学系論集」と、大学院人間総合科学研究科教育基礎学専攻が編集・発行していた「教育学論集」、および学校教育学専攻が編集・発行していた「学校教育学研究紀要」を統合した、新しい「教育学系論集」となります。3つの研究紀要を統合しましたが、紀要名はもっとも長い間発行されてきた「教育学系論集」を踏襲することとし、巻数も継続することとしました。筑波大学からの教育学の成果を1つのチャンネルに集約し、よりわかりやすい教育学としての発信の場をつくるのが目的です。統合に関しての検討は、2013年度中におこなわれ、2014年度、すなわち本巻から統合した「教育学系論集」となりました。2015年からは毎年2号（10月、3月）の発行となります。

本巻は、教員および院生の8本の研究論文と、学域の活動報告、2013年度に提出された博士論文の要旨、そして後期の大学院生の研究活動状況の一覧を掲載することができました。これは学域、専攻としての双方の紀要の意味があることを反映しています。次回からは、年2回の発行体制となります。今後とも、研究紀要として充実した紙面を図っていく所存です。どうぞ、よろしく願います。（井田仁康）

『教育学系論集』編集委員会

井 田 仁 康（委員長）	嶺 井 明 子（副委員長）
飯 田 浩 之	唐 木 清 志
藤 井 穂 高	吉 田 武 男
大 塚 慎太郎（幹事）	星 野 真 澄（幹事）

筑波大学教育学系論集 第39巻

平成27年3月 印刷

平成27年3月 発行

発行 筑波大学人間系教育学域

〒305-8572 茨城県つくば市天王台

1丁目1-1

TEL 029-853-4598

印刷所 株式会社いなもと印刷

〒300-0007 土浦市板谷6丁目28-8

TEL 029-826-1221

Bulletin of Institute of Education University of Tsukuba

Vol. 39

CONTENTS

Consciousness of Students in Unified Primary-Secondary School Educational System: Comparative Study of Questionnaire Survey	Naohiro HIGUCHI	1
The Concept of <i>Gyo</i> (Buddhist training) by Tesshu and Tetsufumi MIYASAKA: In Their Wartime Publications	Tomomi NETSU	15
Requirements and Issues for Promotion of Information Education, from the Perspective of High School Teachers	Nagayoshi NAKAZONO	31
Problems related to the Process of New School Establishment through High School Consolidation Today: Focusing on the change of teachers' cognition	Chihiro YOSHIDA	45
The Relationship between Social Capital development in a Regional Community in a Mesomountainous Area and Learning Activities of Local Residents: The case of Kaneyama Town in Mogami-gun Yamagata Prefecture, Japan	Daihachi HACHIYA	59
Efforts toward Establishment of a Multicultural Coexistence in a Highly Concentrated Community of Foreign Residents: A Case Study of Kawaguchi, Saitama	Beibei CAO	73
A comparative study on ethical documents for students of grade one in China-Japan primary schools: Centering on "politeness" in Confucianism	Le NA	87
Elementary School Teacher's Practical Knowledge of Unit Design Focusing on Mathematics Teacher Mr. Kozo Tsubota	Manami YURURI	99

Published by

Division of Education, Faculty of Human Sciences, University of Tsukuba

March 2015